

<幹事報告：平田洋一幹事>

- ・他クラブの例会変更はありません。
- ・今年度の向けて幹事決意表明  
独特な会長のスピードに皆さん付いてこれるようになれる限りのバックアップと会長のサポートをさせていただきますのでみなさまのご協力お願い致します。



<ニコニコ委員会：小林 弘委員長>

◎お誕生日

- 中原光男：誕生日のお祝いをありがとうございます、増々元気でありたいものです。
- 小林 弘：①児山、平田年度の船出おめでとうございます、頑張ってください。  
②誕生日のお祝いありがとうございます、当クラブの年長ベスト5に入りますが、まだまだ頑張りますよ。
- 高橋 清：①長島・高橋年度一年間ご苦労様でした。児山・平田新年度のスタートお祝い申し上げます、頑張ってください応援いたします。②誕生日のお祝いありがとうございました、合せてニコニコです。
- 小菅正彦：①長島会長、高橋一彦幹事1年間御苦労様でした。②児山平田年度頑張ってください③誕生日プレゼントありがとうございます。
- 野村 充：妻の誕生祝いありがとうございます。
- 佐藤正之：児山・平田年度の幕開けを祝うと共に長島・高橋年度の果した40周年記念行事や例会場事務所の移転等の役割・実績に多大な敬意を表します。又本日は誕生日を祝って頂誠にありがとうございます。当月で満80才を迎えます。芭蕉は「奥の細道」で「月日は百代の過客にして、行きかう年も又旅人也」と云っていますが、振り返ってみますと私共の年代は良くも悪くもプレの大きい時代を旅してきました。願わくば、あとの世代に出来るだけ迷惑をかける国に仕上げるために微力を捧げなくては・・・と思う次第です。
- 小林辰幸：家の奥様誕生日が年々いやになるらしいですが・・・ありがとうございます座居ます。

◎結婚記念日

- 森谷充伯：いろいろとお祝いありがとうございます また、仕事面ではサウジアラビアも経産省とのジョイントが完了し、いよいよアラビア人になります。

◎その他

- 浅野 久：新年度例会おめでとうございます。今年度の北クラブの発展を祈念いたします。
- 伊師嗣迪：長島、高橋一彦年度お疲れ様、一彦さんはもう一働きですね。児山平田年度、渡辺ガバナー補佐にエールを送ります。渡辺敏弘：今年度12分区ガバナー補佐として精一杯努めさせていただきますので、北クラブの皆様の御支援、御協力よろしくお願い致します。
- 渡辺敏弘：今年12分区ガバナー補佐として精一杯努めさせていただきますので、北クラブの皆様のご支援、御協力よろしくお願い致します。
- 長島正巳・高橋一彦：一年間ありがとうございました。拙い会長・幹事でしたが、皆様のご協力により40周年記念・例会場・事務所移設等々、色々有りましたが無事、職務を終わる事が出来ました。新年度の児山会長・平田幹事にバトンが渡せました。皆様に感謝し、ニコニコさせていただきます。
- 鈴木悦朗：長島会長、高橋幹事一年間おつかれさまでした。松戸北ロータリークラブも41年目を迎え、品格のある「びわ亭」に例会場を移転いたしました。児山新会長、平田新幹事一年間どうぞよろしくお願い致します。
- 児山守治：今日から一年間のスタートです。どうぞ宜しくお願い致します。ここで一句  
☆若鮎の香り嬉や酒すゝみ

■奉仕の理想 (Ideal of Service) ■

己に天職という使命を与えてくれた社会、また己の職業を生かし続けさせてもらっている社会に感謝するとき、その仕方(奉仕)の基本として個人生活、社会生活、職業生活に於いて利己的欲求は最小限にとどめ、常に最大利他の究極を求め続けて行こうとするロータリーの奉仕哲学である。



国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第1972回 例会 2013年7月2日(火)

- 国際ロータリー会長 ロンD. パートン
- 第2790地区ガバナー 関口 徳雄
- 第12分区ガバナー補佐 渡辺 敏弘
- 松戸北ロータリークラブ会 児山 守治
- 松戸北ロータリークラブ幹事 平田 洋一
- 例会日 - 毎週火曜日12:30より (第1例会18:30)
- 例会場 - 松戸市八ヶ崎1-10-6 「びわ亭」
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サライズ ハイツ101
- TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

## &lt;第1972回:例会プログラム&gt;

- 18:30 点鐘  
国歌斉唱「君が代」  
ロータリーソング「奉仕の理想」
- 18:35 会食
- 19:00 会長挨拶及び報告(理事会報告) 児山守治会長
- 19:10 幹事報告 平田洋一幹事
- 19:15 委員会報告  
(諸事お祝)出席・親睦活動委員会  
(社会奉仕基金BOX)社会奉仕委員会  
(ニコニコBOX)ニコニコ委員会
- 19:30 点鐘



## &lt;会長挨拶：児山守治会長&gt;

第1回目の理事会の報告と決定事項をお伝えいたします。入会6年目になりました。まだまだ未熟であります。縁あって会長となりますが、皆様からご指導とお叱りを戴きながら1年間健康に留意して頑張りたいと願っております。

さて1905年(明治38年)今からちょうど108年前になります。ポール ハリス ロータリークラブを創立しました。当時のシカゴは地獄もかくやと思われる程の 惨憺たる暗黒の世界でした。この世もこれ以上悪くなりようが無いと云う悪徳の極みで 金儲けのためなら殺人も朝飯前で 強奪 不法侵入 不払い 計画倒産 夜逃げ およそ考えられる限りの悪知恵を繰り広げていました。

また シカゴは 暗黒の世界マフィアのボス アル・カポネ (1899~1947年 48歳の生涯) が台頭していました。

ロータリー創立が1905年ですからちょうどバッシングする年度内でありました。恐かったですよね。ギャングの縄張り争いをしているこの時期 これらを取り締まるFBIの出番となります。アンタッチャブルの隊長エリオット・ネスは170センチ70キロの体格ですが とても機敏で10mの至近距離から拳銃で撃たれても弾を避ける事ができたと云われています。とても優秀な刑事でした。こんな状況の中でロータリークラブ シカゴ ブランチ が誕生したのです。安心して商取引ができる仲間を探していたのです。直ぐに二人の仲間 アーサー シェルドン と チェスレイペリー ができました。この後 諸事お祝いもありますので この続きは次回のお楽しみです。

当ロータリークラブに関しましては 各委員会の皆さんが知恵を出し合ってまとまりのある活動をお願いいたします。一年間の委員会活動で親睦を深めながら良い活動ができることを楽しみにしてまいります。楽しく和気あいあいと元気にやりたいと思います。

来週7月9日は外部からの卓話を考えております。

どうぞご期待いただきたいと思います。

以上 就任挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



## ■ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」Service above self■

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。

## &lt;被災地へ訪問:高橋 清会員&gt;

6月25・26の2日間、当クラブ移動例会を兼ねた、23年3月11日の想像を絶する地震と津波の被害にあった宮城県の石巻と女川方面、そして仙台の名取・荒浜方面の被災地慰霊訪問に参加してまいりました。

私の妻も同行させていただきました。行って良かった、あのようなすさまじい現状を目にし、現地の人の話を聞くことができ、そして復興に向けて少しずつ動いている現地の様子を見ることが出来て、ほんとに良かったと云っております。参加された会員の皆さんも同じ感想だったと思います。

そして、当クラブで行っている義援金募集活動、今年度も社会奉仕活動の一つとして継続実施されると思いますが、現場の状況をみることで今後の参考になったと思います。

そして私は、あの現地の根こそぎ無くなってしまったものすごい状態と現在行なわれている復興事業の様子(結果がつぶさに見えない)を見て、今後の見通し等を考えると、何時まで、どのように、誰に、どこに何を支援したらよいか分かりません。今後の我々のお手伝いの課題ではないでしょうか、そのように思われました。

又、現地の案内のお二人が云っていたのは、「皆さんが来てくれることが一番嬉しいことです」ということでした。

慰霊の行程は次の通りです、そして行く先々で献花をさせていただきました。

一日目、石巻地方の内、日和山に登り津波と火災で廃墟と化した門脇町と南浜町地区を見渡し、そして下に降りて黒こげになった門脇小学校を見る、何とも云えないさびしさである。そして女川地区に行き港湾の様子を見る、根こそぎひっくり返った鉄筋コンクリートの交番等をつぶさに目にする。そして幼稚園児が先生の誘導で裏山に逃げたが、そのお母さんが亡くなってしまった園児もいるという案内人の話を聞いて涙が出てしまう。希望の鐘仮設店舗の様子を見てから、次に何とも云いようがない、書きようのない現場、それは北上川に添った大川小学校である。児童・先生84人が死亡行方不明の現場である、ガレキに近い状態の学校の一角に生徒が生前描き残した壁画が太陽に輝いてあざやかであった。その中に描かれた宮沢賢治の銀河鉄道の姿が天に向かって走っていた、それ等を見てなんと表現していいか分からない、涙も出ない一時であった。

二日目、最初名取市の閑上地区の様子、ここも一面廃墟である。案内所に働く、この方も当時御主人を失ったそうである橋浦さんが明るく元気に(被災後に孫が誕生したのが支えだとのこと)説明と案内をしてくれる。案内所内でビデオで説明、そして現地を案内してくれる、中学校、小学校、そして小さな日和山、ここに登ると廃墟の様子が一眺出来る、兵庫からきたボランティアの皆さんが草刈りをして桜の植樹をしていた。又閑上小学校では被災当時の遺留品が様々に並べられ、当事者もあまりこの現場に来たがらない、という説明もあった、複雑な現地の様子である。

案内人とお別れをして仙台空港へ向かい、空港に押し寄せた津波の高さの表示を見て、きれいになっている現場の様子からは想像もつかない当時の恐ろしさを知らされました。そして昼食後はこちらも集落が壊滅した荒浜へ向かい、周辺は防風林であった筈の松の樹が、葉もなく枝もなく、枯れて寄り添いながら、遠くで近くで我々に語りかけている様子が私にはたまらなく感じられました、忘れられそうもない荒浜の姿でした。

そして、荒井小学校用地の仮設住宅をバスの窓から見ながら被災地とお別れを致しました。一日も早い復興を祈念いたします。



## ■米山梅吉 (UMEKICHI YONEYAMA)■

1920年世界855番目のRC(東京RC)を創立し、日本に初めてロータリーを導入した。東京RCの初代会長に就任し、日本のロータリーの発展の基礎を築いてくれた偉大な人である。